



平成31年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年12月10日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川邊 史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成30年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年7月期第1四半期の業績(平成30年8月1日～平成30年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年7月期第1四半期	1,101	69.8	22		39		26	
30年7月期第1四半期	649	38.2	144		128		92	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年7月期第1四半期	3.35	
30年7月期第1四半期	11.46	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年7月期第1四半期	10,726	8,122	75.7	1,011.05
30年7月期	10,908	8,278	75.9	1,030.47

(参考)自己資本 31年7月期第1四半期 8,122百万円 30年7月期 8,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年7月期		0.00		20.00	20.00
31年7月期					
31年7月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年7月期の業績予想(平成30年8月1日～平成31年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	36.4	340	338.9	335	362.8	225	360.8	28.00
通期	6,400	17.1	960	50.4	950	47.8	640	56.9	79.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年7月期1Q	8,042,881 株	30年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	31年7月期1Q	9,563 株	30年7月期	9,515 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年7月期1Q	8,033,354 株	30年7月期1Q	8,033,486 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに拡大しております。世界経済は、米国と欧州の経済が堅調に推移したことに加え、新興国経済の緩やかな回復が継続し、着実な改善を続けております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、半導体メモリーの需要拡大を背景にした積極的な設備投資は一旦収束しておりますが、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット（注）においては、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械素子）といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、その中から本格生産への移行も進んでおります。

このような状況の下、前事業年度に引き続き、オプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや、電子部品分野の高周波デバイス、MEMS、各種センサー等向け製造装置の受注活動に注力し、当第1四半期での受注及び生産は堅調に推移いたしました。その結果、当第1四半期会計期間末の受注残高は2,325百万円（前年同期比2.8%増）となっており、第2四半期以降の売上高への寄与を見込んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高が1,101百万円（前年同期比69.8%増）、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失144百万円）、経常利益は39百万円（前年同期は経常損失128百万円）、四半期純利益は26百万円（前年同期は四半期純損失92百万円）となりました。

(用途別売上高)

用途	売上高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
オプトエレクトロニクス分野	319,226	29.0	474.2
電子部品分野	299,579	27.2	152.1
シリコン分野	71,000	6.4	△50.9
実装・表面処理分野	50,561	4.6	△48.8
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	150,592	13.7	95.6
部品・メンテナンス	210,970	19.1	36.7
合計	1,101,930	100.0	69.8

(注) 当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット

半導体製造装置業界には、シリコン（Si＝ケイ素）を材料とした半導体の製造装置を販売する企業は多く存在しますが、当社は化合物半導体や電子部品の製造装置を主力製品としております。シリコンを材料とした半導体は主にD-RAM、フラッシュメモリーなどに用いられますが、当社の扱う化合物半導体はガリウムヒ素（GaAs）、窒化ガリウム（GaN）、炭化シリコン（SiC）などを主体材料とし、シリコンに比べ高速信号処理に優れ、高電圧で動作したり、幅広い波長の光に反応したりと優れた特性を備えており、シリコンでは達成できない機能による用途・分野を日々開拓し、着実にその市場を拡大させております。現在、実用化されている主な用途・分野には、照明用（青色LED）に加え車載用に需要が拡大している高輝度LEDや、通信用・小型プロジェクター向けに市場が拡大しているLD（オプトエレクトロニクス分野）、スマートフォンやタブレット型端末の普及で需要を牽引してきた高周波デバイス、省エネ対策として様々な研究開発が進んでいるパワーデバイスのほか、インクジェットプリンターヘッド、医療、ライフサイエンス、バイオなどで研究開発が進むMEMS（電子部品分野）などがあります。

化合物半導体製造装置の市場規模は、全半導体製造装置市場の10パーセント程度ではありますが、化合物半導体の加工は非常に困難であり、これを加工する半導体製造装置を製造するには高度な専門知識と技術の蓄積を要し、参入障壁の高い事業領域であります。当社は、創業以来この化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットに特化し、大学・官庁・研究機関などが主な販売先となる研究開発機市場に加えて、近年は電子部品メーカー・デバイスメーカー・情報通信機器メーカーなどの生産現場が主な販売先となる生産機市場に注力し、様々な電子機器に不可欠である高周波デバイス、キャパシタ、パワーユニットなどの電子部品市場での設備投資需要を取り込み、事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,119百万円で前事業年度末に比べ195百万円減少いたしました。受注残高の増加に伴い、たな卸資産が136百万円増加した一方、売上債権が177百万円、現金及び預金が131百万円減少したのが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,607百万円で前事業年度末に比べ13百万円増加いたしました。関係会社長期貸付金が27百万円増加したのが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,786百万円で前事業年度末に比べ31百万円減少いたしました。買掛金が91百万円、賞与引当金が25百万円増加した一方、未払法人税等が140百万円減少したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、818百万円で前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。リース債務が3百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、8,122百万円で前事業年度末に比べ156百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が133百万円減少したことなどによります。自己資本比率は75.7%と前事業年度末比0.2ポイント低下いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年7月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成30年9月10日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,201,150	4,069,568
受取手形	91,768	48,220
電子記録債権	555,554	763,014
売掛金	1,546,348	1,205,209
仕掛品	698,543	800,537
原材料及び貯蔵品	143,985	178,250
前払費用	9,711	12,913
未収消費税等	3,648	7,313
その他	64,241	34,499
貸倒引当金	△222	△206
流動資産合計	7,314,730	7,119,321

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年10月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,035,933	1,035,933
減価償却累計額	△671,761	△679,708
建物(純額)	364,172	356,224
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△24,171	△24,232
構築物(純額)	1,143	1,082
機械及び装置	738,618	740,811
減価償却累計額	△658,993	△665,683
機械及び装置(純額)	79,625	75,128
車両運搬具	48,869	46,008
減価償却累計額	△40,704	△38,624
車両運搬具(純額)	8,164	7,383
工具、器具及び備品	210,774	211,240
減価償却累計額	△185,582	△187,958
工具、器具及び備品(純額)	25,191	23,282
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	55,163	50,790
減価償却累計額	△32,032	△29,420
リース資産(純額)	23,130	21,369
建設仮勘定	33,606	52,160
有形固定資産合計	3,065,870	3,067,468
無形固定資産		
特許権	1,354	846
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	106	86
水道施設利用権	1,268	1,198
リース資産	8,293	14,571
無形固定資産合計	13,985	19,665
投資その他の資産		
投資有価証券	217,839	186,620
関係会社株式	25,207	25,207
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	30,337	58,004
繰延税金資産	124,860	134,661
差入保証金	81,066	81,135
保険積立金	29,161	29,161
その他	417	402
投資その他の資産合計	513,890	520,192
固定資産合計	3,593,746	3,607,326
資産合計	10,908,476	10,726,647

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	547,843	639,539
短期借入金	700,000	700,000
リース債務	9,018	10,443
未払金	105,448	115,283
未払費用	32,442	34,826
未払法人税等	160,532	20,124
預り金	47,250	36,467
賞与引当金	24,400	50,000
役員賞与引当金	9,672	—
製品保証引当金	23,500	27,200
その他	157,730	152,563
流動負債合計	1,817,839	1,786,449
固定負債		
リース債務	22,405	25,497
長期末払金	1,610	1,888
退職給付引当金	420,441	420,631
役員退職慰労引当金	368,040	370,094
固定負債合計	812,498	818,110
負債合計	2,630,337	2,604,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,867,000	3,867,000
繰越利益剰余金	506,525	372,838
利益剰余金合計	4,433,025	4,299,338
自己株式	△10,737	△10,802
株主資本合計	8,165,462	8,031,711
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112,676	90,375
評価・換算差額等合計	112,676	90,375
純資産合計	8,278,139	8,122,087
負債純資産合計	10,908,476	10,726,647

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成29年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年8月1日 至平成30年10月31日)
売上高	649,119	1,101,930
売上原価	350,208	593,174
売上総利益	298,911	508,756
販売費及び一般管理費	443,709	486,597
営業利益又は営業損失(△)	△144,798	22,158
営業外収益		
受取利息	641	886
為替差益	14,088	14,137
雑収入	2,835	4,078
営業外収益合計	17,566	19,102
営業外費用		
支払利息	965	886
売上割引	72	602
雑損失	—	0
営業外費用合計	1,037	1,489
経常利益又は経常損失(△)	△128,269	39,771
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△128,269	39,771
法人税等	△36,187	12,791
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,081	26,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(税効果会計に係る会計基準の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日)		前事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	83,626	8.7	129,972	9.7	991,126	17.2
エッチング装置	594,493	61.9	839,807	63.0	3,373,860	58.3
洗浄装置	111,859	11.7	111,555	8.4	603,088	10.4
その他	169,805	17.7	251,890	18.9	817,256	14.1
合計	959,784	100.0	1,333,226	100.0	5,785,331	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日)		前事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	252,724	409,724	32,500	116,325	909,940	240,295
エッチング装置	1,347,915	1,566,208	935,301	1,710,402	4,066,093	1,344,535
洗浄装置	78,743	145,251	163,418	236,665	648,926	238,302
その他	196,933	140,028	273,983	261,847	829,475	198,835
合計	1,876,316	2,261,213	1,405,203	2,325,241	6,454,435	2,021,968

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日)		前事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	77,000	11.8	156,470	14.2	903,645	16.5
エッチング装置	393,141	60.6	569,433	51.7	3,332,993	61.0
洗浄装置	24,592	3.8	165,055	15.0	501,724	9.2
その他	154,385	23.8	210,970	19.1	728,121	13.3
合計	649,119	100.0	1,101,930	100.0	5,466,483	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分 (地域別)	前第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日)		前事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
アジア	206,561	92.6	274,706	63.0	1,641,700	73.2
北米	16,580	7.4	101,752	23.4	488,411	21.8
欧州	—	—	59,254	13.6	112,510	5.0
その他	—	—	—	—	—	—
輸出販売高合計	223,142 (34.4%)	100.0	435,714 (39.5%)	100.0	2,242,623 (41.0%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。